

西海ゼミで過ごした一年間～いやあ君たちは実に優秀だねえ～

2006 年度ゼミ卒業生 高田 恭子

(住友大阪セメント株式会社セメント・コンクリート研究所)

この度は西海ゼミ 30 周年おめでとうございます。30 年前といいますと私が生まれる前ということもあり、その歴史の重みを感じずにはいられません。特に研究というのは根底にあるものは変わりませんが、研究のテーマというのは時代の流れやニーズと共に変化していくものであり、西海ゼミが先生を中心にして常に最先端のプロセス工学を研究してきたのも西海教授の先見の明ではなかろうかと思えます。私は西海ゼミで 1 年間「超臨界抽出」の研究をしましたが、仕事柄、プラントや化学工学に関する文献を見ることも多いため、1 年間で得た知識を生かすことができます。

そんな多岐に渡る様々な研究で実績を残してきた西海ゼミですが、ゼミの特徴として研究を集中してやることはもちろんですが、どうも他ゼミと比べてイベントが多かったように思います。特に当代はことあるごとにイベントを開催し、時には他ゼミの学生の参加もあり、大いに盛り上がりました。それらの数あるイベントの一部を紹介したいと思います。

◇夏合宿 2006 in 白馬～揃いに揃って皆軽装で唐松岳登頂～

2 泊 3 日の日程で白馬を訪れ、2 日目にメインイベントである唐松岳登山を行った。山を知り尽くしておられる西海先生とは対照的に本格的な登山はほぼ初めてのゼミ生達は皆軽装で、山道ですれ違うご年配方に「若いっていいわね～」と言われる。スニーカーで標高 2696m の唐松岳を登ってきただけあり、疲れがピークに。翌日訪れた松本城の階段を恨んだのは言うまでもない。



あれっ親子？やっぱり親子だ

気分爽快

◇日野コン～智恵子さんはみんなのお母さん・西海先生童心に返る～◇

毎年恒例となっている西海先生ご自宅で開催される日野コンは、2006 年も非常に賑やかだった。ドンチャン騒ぎができるのも、親元を離れたゼミ生がお腹いっぱいお母さんの味を食べられるのも、西海先生の愛妻である智恵子さんのお陰。智恵子さんのから揚げは絶品。あれっここにも大きな子供がいた。



家族写真

大きな子供

このように数多くのイベントで親睦を深め、より充実した1年間を過ごすことができたのも、西海先生が温かくそして時に厳しく指導して下さいましたお陰であると感じています。サブタイトルにした「いやぁ君たちは実に優秀だねえ」は先生の口癖となった褒め言葉であり、いつ何時でも些細な事で悩んでいる時は親身になって相談を引き受けてくださいました。研究においても先生や先輩、同期から多くのアドバイスを頂き、自分なりに満足に行く卒業論文を書くことが出来ました。私は卒業後、セメントの研究という全く畑違いな分野に就業しておりますが、研究に携わる者の心構えや飽くなき探究心の基礎は、西海ゼミで培われたと言っても過言ではありません。

最後に歴史ある西海ゼミの一員として1年間研究できたことは、社会人2年目の私にとって大きな財産となっています。今後の西海ゼミの益々のご発展と、西海先生のさらなるご健勝を祈念しております。



西海教授&2006年度修士・学士卒業生（2007年3月24日）

※先生がハニかみ気味でおすまし気味なのはバッグをプレゼントしたからです。